福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	リハビリテーション医学講座 / リハビリテーションセンター(論文・著書・発表等)
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 2: 311-314
Issue Date	2022-03-22
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1767
Rights	©2022 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-04-27T15:56:19Z

長谷川有史. その後の被ばく医療. ラジオ NIKKEI 医学講座; 20200317.

長谷川有史. 2011.3.11、その時現場では:福島県立医科大学附属病院「救急医失格」. 日本放射線影響学会第 63 回大会; 20201015-16; 福島. 講演要旨集. 18.

長谷川有史(座長),高村昇(座長).危機時のクライシスコミュニケーション:誰が、いつ、どこで、どのように行うのか(放射線災害を中心に).日本放射線影響学会第63回大会;20201015-16;福島.

リハビリテーション医学講座/リハビリテーションセンター

論 文

[原 著]

藤井正純, 二村美也子. 言語に関連する解剖構造を読影する方法. 高次脳機能研究. 202006; 40(2):217-226.

二村美也子. 専門医に求められる最新の知識 脳腫瘍 これであなたも「失語症」のことが話せるようになる! Let's talk about"aphasia". 脳神経外科速報. 202002; 30(2):184-192.

[その他]

渦年業績

大井直往. 失敗から学ぶということ 心に残ったできごとーリハビリテーション科の現場から. Journal of Clinical Rehabilitation. 201910; 28(11):1122-1123.

著書・訳書

鈴木秀基. THA 後において体幹に対する理学療法が有効であった症例. In: 対馬栄輝. 人工股関節全置換術の理学療法 明日の臨床を変える Art & Science. 東京: 文光堂; 202010. p.311・319.

鈴木秀基. 生活指導・ホームエクササイズのパンフレット. In: 対馬栄輝. 人工股関節全置換術の理学療法 明日の臨床を変える Art & Science. 東京: 文光堂: 202010. p.326·344.

鈴木秀基(分担執筆). In: 木村貞治, 対馬栄輝 監修. EBPT 用語集(Web). 一般社団法人日本理学療法学会連合; 2020.

研究発表等

〔研究発表〕

二村美也子. 出来ますか? 失語症の診断 Diagnosis of aphasia, can you do it? 国際核医学フォーラム 2020; 20200118; 湯河原町.

佐藤真理,五百川和明,横塚美恵子,伊橋光二,長峯沙紀子,鴫原和昭,菅野和広,大内一夫,大井直往.橋中心及び橋外性髄鞘崩壊症に対するリハビリテーションの経験.第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20200819; 京都. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 57(特別):S605

渡辺祐樹,二階堂琢也,矢吹省司,佐藤真理,大井直往. 術後早期の QOL と心身機能・日常生活動作能力との関係一腰椎手術例での検討一. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20200819; 京都. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 57(特別): S839

野村潤, 鴫原智彦, 菅野健一, 舟見敬成, 半谷智辰, 志和智美, 大井直往. 2019 年台風 19 号に対する福島県 災害リハビリテーション推進協議会 (福島 JRAT) の活動報告. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20200820; 京都. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 57(特別):S1623.

二村美也子,藤井正純,蛭田亮,小林俊輔,黒見洋介,鴫原和昭,芥川奈央,大井直往,齋藤清.楽器演奏能力を温存して社会復帰を目指した小学校教員の1例-覚醒下手術で高次運動機能を守る我々の挑戦-.第44回日本神経心理学会;20201001;Web.プログラム・予稿集.44:98.

藤井正純, 二村美也子, 鴫原和昭, 芥川奈央, 蛭田亮, 小林俊輔, 大井直往, 齋藤清. 覚醒下手術における頭頂葉性の高次運動機能を評価するタスクの開発. 第 44 回日本神経心理学会; 20201001; Web. プログラム・予稿集. 44:98.

高橋雄一,星野大,刑部有祐,吉田久美,松本貴智,青田美穂,今野嶺,藤井進也,青木俊太郎,菅野和子,各務竹康,森湧平,和田知紘,志賀哲也,疋田雅之,板垣俊太郎,三浦至,大井直往,福島哲仁,矢部博興.統合失調症患者におけるリズム感とミスマッチ陰性電位 (mismatch negativity) の関係性の検討.第50回日本臨床神経生理学会学術大会;20201126;京都. 臨床神経生理学.48(5):551.

野村潤, 鴫原智彦, 菅野健一, 舟見敬成, 半谷智辰, 志和智美, 大井直往. 災害リハビリテーションの現場に 常時携行する福島 JRAT ハンドブックの作成. 第4回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会; 20201120; 神戸.

過年業績

二村美也子,藤井正純,前澤聡,岩楯兼尚,市川優寛,佐久間潤,大井直往,齋藤清. 覚醒下手術中の皮質マッピング時に語音認知障害を呈した2例一優位半球上側頭回の語音認知への関わりについて. 第21回日本ヒト脳機能マッピング学会;20190315;東京.

二村美也子. 言語の神経基盤 ーネットワークで考えようー. 平成30年度福島県言語聴覚士会専門研修分科会(失

語高次脳領域); 20190317; 郡山.

二村美也子,藤井正純,蛭田亮,岩楯兼尚,市川優寛,佐久間潤,大井直往,齋藤清. 覚醒下手術中の皮質マッピング時に復唱障害を呈した4例 優位半球上側頭回の言語情報処理過程について考える. 第24回日本脳腫瘍の外科学会;20190913; 浜松.

二村美也子,藤井正純,蛭田亮,岩楯兼尚,市川優寛,佐久間潤,大井直往,齋藤清. 優位半球上側頭回は語音認知処理に関わるため、復唱課題での評価が必要である. 第17回日本 Awake Surgery 学会; 20191012; 大阪.

二村美也子,藤井正純,小林俊輔,平山和美,黒見洋介,大井直往,齋藤清.『カテゴリー特異性』を呈した連合型視覚失認をどう考えるか.第43回日本高次脳機能障害学会;20191126;仙台.高次脳機能研究.40(1):65.

[シンポジウム]

大井直往. 2019 年台風 19 号災害における福島 JRAT の活動報告. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20200820; 京都. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 57(特別):S314.

大井直往. 口腔・脳・身体の融合 そして、こころの重要性の気づき. 第 12 回多職種連携 医療・福祉セミナー; 20201008; 福島.

[特別講演]

大井直往. 効果的な運動の仕方について. 石川町健康運動推進員フォローアップ講座; 20200221; 石川町.

大井直往. 認知症を合併する高齢者の運動器リハビリテーションの留意点. 第 57 回日本リハビリテーション医学会学術集会; 20200821; 京都. Japanese Journal of Rehabilitation Medicine. 57(特別):S406.

大井直往. 健康作りの基礎基本(健康作りの取り組み方). 三春町健康教室; 20200929; 三春町.

大井直往. 身体からのフレイル予防. 第 12 回多職種連携 医療・福祉セミナー フレイル予防のための地域包括 ケアシリーズ; 20201008; 福島.

大井直往. 他職種協働の観点から在宅の人を支援する. 南達地区地域包括ケア研修会; 20201016; 本宮.

大井直往. 地域リハビリテーション・災害リハビリテーション. 福島医学会; 20201022; 福島.

大井直往. がんリハビリテーションについて. 会津中央病院研修会;20201218; 会津若松.

過年業績

大井直往. 地域包括ケアシステムを支えるリハビリテーション. 平成30年度地域包括ケアシステム研修会(県北保健福祉事務所主催);20190122;福島.

大井直往、リハビリテーションによる疼痛マネジメント、脳心血管病・リハビリテーションセミナー 2019;

20190606; 弘前.

大井直往. ロコモティブシンドローム. NPO チロル浪江町講演会; 20190711; 二本松.

大井直往. 認知症を合併する高齢者の運動器リハビリテーションの留意点. 秋田県リハビリテーション研究会; 20190803; 秋田.

大井直往. 地域包括ケアシステムを支えるリハビリテーション. 令和元年度伊達市地域包括システム研修会; 20190823; 伊達.

大井直往. 2019 年台風 19 号災害における福島 JRAT の活動報告. 2019 年地域 JRAT 全国研修会; 20191130; 東京.

人間科学講座 生命倫理学分野

論 文

[その他]

藤野美都子. 藤野美都子・佐藤信行編著「憲法理論の再構築」(書籍情報). 国際女性. 202012; (34):145.

藤野美都子. 鳴子博子編著「ジェンダー・暴力・権力-水平関係から水平・垂直関係へ-」(書評). 女性空間. 202012; (37):127-129.

著書・訳書

末永恵子. 外地「いのち」の資料集(二) -満洲医科大学 第1巻. 金沢: 金沢文圃閣; 202011.

末永恵子. 外地「いのち」の資料集(二) -満洲医科大学 第2巻. 金沢: 金沢文圃閣: 202005.

末永恵子. 外地「いのち」の資料集(二) -満洲医科大学 第3巻. 金沢: 金沢文圃閣;202005.

末永恵子. 外地「いのち」の資料集(二) -満洲医科大学 第4巻. 金沢: 金沢文圃閣;202011.

末永恵子. 外地「いのち」の資料集(二) -満洲医科大学 別巻. 金沢: 金沢文圃閣; 202005.

藤野美都子. 日本国憲法・戦後 75 年ーコロナ禍のなかで日本国憲法について考える. In: 日本婦人団体連合会 編. ジェンダー不平等を超える「北京+25」(女性白書 2020). 東京: ほるぷ出版; 202008. p.136·140.